

留学体験記 九月

島根大学 法文学部 二年 森本蔵人

① 出入国とルームメイト

アーカンソー大学への留学が決まってからとても大変だったのが、なんといってもビザ関係の手続きや大学入学の手続きでした。本当に大変でした。手続き関係のことはまた書きたいと思います。航空券を取り、東京からヒューストン、ヒューストンからアーカンソーへと乗り継ぎ無事着くことができました。着いてからは専用のドライバーが迎えに来てくれて、自分のアパートまで連れて行ってもらいました。私は人と話すのが好きなので、ドライバーとたくさん話したいと思っていました。しかしそんなことは理想に過ぎませんでした。まったく英語が聞き取れず自分もなかなか話せずにただただ気まずい時間が過ぎただけでした。アパートに着いてからは生活必需品をそろえてルームメイトを待ちました。ルームメイトは基本選ぶことができますが、そもそも知り合いなどないので私の場合ランダムに選ばれました。ルームメイトは三人いて私のルームメイトは全員ドイツ人の私と同じ交換留学生でした。彼らはとても英語が堪能で僕と話すときは英語で話してくれますが、基本ドイツ語で話しているのでなにを言っているかわかりません。だから私は、留学中に英語だけではなくドイツ語も習得しようとしています。

② 普段の生活

基本的に朝は早く起きて勉強しそのまま学校に行って授業を受けます。私は週に10回のミールプランを購入しているのでダイニングホールや1021で食べています。私はアーカンソー大学で勉強だけではなく、トライアウトを受け men's volleyball club にも所属しているので家に帰るのは基本12時過ぎです。私は英語を学んだり文化を学んだりするにはコミュニケーションをとることが一番だと思っています。なのでスポーツを通して様々な人とつながれたのは本当に良かったと思っています。またクラブに入ることで試合のたびにアラバマやシカゴなどいろいろな州に行くことができるのです。授業は地理、歴史、情報システム、金融など幅広い分野の授業を取っています。専門知識を英語で学ぶので英語力が乏しい私には難しいことがあります、授業の予習、復習などを自分なりに努力しています。

③ 今後

はじめはネイティブの英語にまったくついていけず悩んでいましたが、積極的に会話をしたり動いたりしたことで今では自信がつき、とても充実した留学生生活が送っています。友達や出会った人に恵まれどの留学生よりも楽しんでいる自信があります。ですが楽しむだけではなくしっかりと勉強もして少しでも自分の夢につながるようにしていきたいです。







